

高峰大工事施工計画

目次

§ 1 主 旨 P. 1

§ 2 大工事の数量と運搬距離 P. 3

§ 3 使用重機計画 P. 4

§ 4 施工順序 P. 5

§ 5 観測計画 P. 6

添付図面

図-1 平面図 P. 7

図-2 横断面図 P. 8

表-1 工程表 P. 9

この工事は高峰を切土運搬し、その後公園
道路、宅地等を造成する事を目的とします

しかし日谷合ニータウン地域内でもこの高峰は、

過去に地盤にありつは斜面崩壊現象が発生していることも

有ると、その土工事の施工に際しては充分防災上の
配慮が必要であります。

特に高峰と隣接して東側には国鉄湖西線、および

南側には一級河川、新橋川が位置しているため、施工中の

防災対策はこの両者に対して重点を置きます

以上の方針を、施工計画に導入するには、具体的に

次の諸項目について、常にチェックと実行を繰り返します

① 土工事着手地点の選定

② 湧水、沢の確認と処置

③ 切土施工基面の勾配と方向

運上距離	運上量	備 考
1 = 300 m	31,120 ^{m³}	キタリ7-7
400	129,520	"
450	24,870	"
550	71,440	ショベル, 4, 1, 7-7
600	17,910	"
650	63,310	"
700	2,240	"
750	10,800	"
TOTAL	351,210 ^{m³}	

キャリアークの使用重機

キャリアールスクレーパー

D120に付着索引	FA 15	6台
ブッシャー	D85R	1台
敷均し転圧用	D85R	1台
"	D5P	1台
予備(流石田他)	D85R	1台

2) ショベルダンプークの使用重機

集土	D85R	1台
積込	ユニホー K375	1台
"	ショベル D75J	1台
運搬	タンクダンプ 11T	7台
敷均し転圧	D5P	1台
"	D4P	1台
予備(道路補修その他)	D85R	1台

§ 4 施工順序

土工事はベンチカット工法により、その順序は横断面図に明示した通りとする。ただし施工中に地盤変化等の異常を察知した場合は、その原因の究明に努め適切な工法に切替えます。

特に過去(昭和50年)に崩壊した土砂の排除は、透水管に打ち込み、降雨により下部へ流出により、土工事を進めます。

又施工方法等は京都大学 中川先生の御指導を仰ぎ、充分に注意して施工いたします。

X = 1100 + 80 横断面图

縮尺 H = 1:500
V = 1:200

